

LGBT
出張研修
受付中

～新しい時代の新しい結婚の形「パートナーズ婚®」普及活動～

LGBT研修

ウェディング
関係者向け

LGBTを知ることで、ウェディングの未来を創造する



ウェディング関係者向けLGBT研修
テーマ「LGBTの基礎とLGBT婚」



ウェディング関係者向けLGBT研修
テーマ「同性婚」

「LGBT対策」は万全ですか?

～国内に13人に1人いると言われているLGBT～

ご存じですか?

毎日のように新聞、テレビなどのメディアでとりあげられているLGBTのことを!

今、なぜLGBT?

「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催に向けて、
日本は国内外からLGBT対策をするよう求められているからです。
今まで以上に国内では急ピッチでLGBT対策が進められています。

なぜ、LGBT研修が必要?

結婚式を挙げたいと願うLGBTの人たちは少なくありません。
いつ問合せや申込みがあっても適切な対応が求められるからです。
また式場やホテル内のスタッフ、お客様、お取引先に
LGBT当事者がおられる可能性があるので配慮が必要だからです。

受入態勢は整っていますか?

何をどれから手をつけたらよいのか?どのように告知宣伝をしていったらよいのか?
そういう疑問やお悩みにお答えするために、当協会の公認講師が出張研修します!

LGBTの基礎知識、ソフト面・ハード面のアドバイス、応対する上での注意点、
結婚式のフォローなど、受入態勢を整えていただきたためのサポートも行います!



パートナーズ婚フェア
一般女性とFtM男性の人前教會式



結婚披露宴
レズビアンカップル

LGBTは、Lesbian、Gay、Bisexual、Transgenderの頭文字をとった性的な少数者(セクシュアルマイノリティ)の総称を表す言葉として一般的に使われています。左利きやAB型の方と同じぐらいの割合でいると言われています。

「パートナーズ婚」とは、お互いがお互いを人生のパートナー(伴侶)として認め合い、同じ人生と一緒に生きていきたいと願うお二人が「ひとつ」になることです。婚姻届や性別によらない、新しい時代の新しい結婚の形です。
パートナーズ婚の対象⇒LGBTなどの性的な少数者、高齢者、障がい者や難病患者、事実婚のカップルなど。

LGBT研修のご相談・ご依頼・お問合せ

当協会では、LGBTの基礎から学ぶ研修、「パートナーズ婚」や実際のLGBT婚・同性婚を通じて、私たちの身近にいるLGBTの方々に対する適切な対応を学ぶ研修など、ウェディング関係者、企業や学校・行政・一般向けに随時、開催しております。知識・経験とも豊富な協会公認講師がわかりやすく丁寧に研修を行います。まずはお気軽にお問合せください。

お問合せフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S37966974/>

お問合せ

PV



一般社団法人結婚トータルサポート協会活動実績

イベント開催

プライダルフェスForLGBT
サマーブライダルフェスForLBTS
パートナーズ婚フェア

研修・講演・
セミナー実績

大阪、神戸、京都、滋賀、和歌山、高知など各所結婚式場、ホテル、旅行会社、学校、企業、行政など多数

メディア
掲載・出演

朝日新聞、毎日新聞、京都新聞、中日新聞、高知新聞、NHK放送、関西テレビ、ウーマンライフ新聞、大阪日日新聞、fmGIG京都、FMOH!、夢のたね放送局、ラヂオきしわだ、アイデアニース、他多数

後援実績

大阪市教育委員会、高槻市教育委員会、大津市、大津市教育委員会、高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知県人権啓発センター、神戸新聞社、高知新聞社、サンテレビジョン、高知放送、テレビ高知、高知さんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、ラジオ関西

一般社団法人結婚トータルサポート協会

〒569-1121 高槻市真上町6-40-50 TEL:072-688-4708 FAX:072-688-7087
E-mail/office@kekkon-kyoukai.org



公式
アプリ



パートナーズ婚
専用サイト



LGBT当事者から寄せられた様々な体験例

- プランナーさんに「入籍はいつですか?」と言われた。
- 式場に思い切って電話をしたら、同性同士を理由に断られた。
- 式場から、「前例がないのでできない」と言われた。
- 「上司に確認します」の前に、「おめでとうございます」と言ってほしい。
- LGBTや同性婚をキーワードにしてウェブ検索しても、結婚式場がヒットしない。
- 「レズですか?」と言われて、傷ついた。(女性同士の場合)
- 「他のお客様の迷惑にならないようにしてほしい」と言われた。
- タキシードを着たいのに、ドレスを着るものだと決めつけられた。
- 「トイレには【LGBT用】の張り紙をしておいたらいいですか?」と言われた。
- ホテルに宿泊予約をしたら「ツインのお部屋をご用意します」と言われた。

レズビアン、バイセクシュアル、トランスジェンダー(FtM,MtF)、エックスジェンダーの皆さんです。みんな違う人間、でも同じ人間です。



これらはすべて、LGBTについての基礎知識を知っていれば防げることばかりです。
難しく考える必要はありません。まずは「知ろうとすること」「知ること」から始めてみませんか?

一般社団法人結婚トータルサポート協会公認講師

結婚式、教育業界で培った経験を生かした 客観的な講義が好評の岸本講師

関西ブライダルミッションの牧師として、今までに3,500組以上のカップルの結婚式の司式をしてきた。最近では、「キリスト教式結婚式」や「LGBT婚」や「同性婚」をテーマにしたセミナー、一般向けLGBTの基礎セミナー、LGBT当事者向けブライダルイベント等の開催、ラジオ番組出演など、啓蒙・啓発活動にも力を入れている。LGBT婚の司式経験を踏まえて、結婚式場にLGBT婚導入のアドバイスや指導も行っている。また誰もがそれぞれの個性を尊重し、誰もが生き生きと暮らせる、差別のない平和な社会を作るために、2016年6月、一般社団法人結婚トータルサポート協会を設立、代表理事に就任。現在、「ウーマンライフ新聞社Website」に「岸本牧師の幸せ論」というコラムを連載中。



一般社団法人結婚トータルサポート協会 代表理事 岸本 誠

大阪市出身。青山学院大学卒業後、学習塾経営、教育機関にて500回以上の研修経験。その後同志社大学神学部に学士編入し、神学研究科博士前期課程を修了、神学修士号取得。中学・高校社会科及び聖書科教員免許取得。

LGBT当事者ならではの体験談をもとにした わかりやすい解説が好評の大久保講師

【LGBT当事者として】

大久保家長女として生を授かりました。幼い頃から男物の服などを好み2歳上の兄のお下がりをよく着ていました。やんちゃでボーイッシュな女の子ゆえ、女子トイレに入ると男の子に間違えられることもしばしば。社会で生活する生きづらさを抱える毎日でした。何年もの間、自分自身や家族、社会と葛藤してきましたが、現在は戸籍も男性へと変更し、結婚もして幸せに暮らしています。また、私と同じような悩みを持つ人の力になりたいという想いで、教員経験を生かして、地元守口市だけではなく、全国各地で講演活動等を行なっています。悩んでいる当事者はもちろん、結婚したくても出来ないという悩みを抱えている方たちへ、未来への希望を伝えていきます。



一般社団法人結婚トータルサポート協会 常務理事 大久保 晴

昭和56年9月1日生まれ。土佐女子中学高等学校卒業。大阪体育大学卒業後、保健体育の教員を9年経験、その後、専門学校の広報活動に4年従事。晴Project代表。

一般社団法人結婚トータルサポート協会概要

名 称 一般社団法人結婚トータルサポート協会

所在地 大阪府高槻市真上町6-40-50

代表者 代表理事 岸本 誠

理 事 島津郁代、岡本美帆子、温井史朗、木戸美伸、大久保暁(FtM当事者)

事 業 LGBT研修・セミナー・勉強会、交流会、啓蒙啓発イベント、結婚サポート、パートナーズ婚の普及活動、パートナーズ婚証明書類の発行など。

※「パートナーズ婚®」は、当協会の登録商標です。

※東京を拠点としてパートナーズ婚を普及するために、「東京パートナーズ婚センター」を設立準備中です。

LGBTについての活動

FtM(女性から男性になった人)と一般女性の結婚式を行ったことで、LGBTと言われる人たちが結婚の不平等も含めて、様々な場面で生きづらさを抱えながら、私たちのごく身近で一緒に生活していることを知りました。

LGBTであろうとなかろうと、誰もが等しく結婚式を挙げることができるはずです。誰もが幸せになる権利があります。

ウェディングに携わるものとして、1組でも多くのカップルに最幸の結婚式をしていただくためには、みんながLGBTについて「知ること」が大切であることに気づきました。

当協会のLGBT研修が、みんなが幸せだと思えるような社会を作っていくための一助となれば幸いです。

代表理事 岸本 誠

LGBT研修、LGBTのキリスト教式結婚式や人前式、その他の結婚式やパーティーのことなら当協会へ!

一般社団法人結婚トータルサポート協会

代表理事 岸本誠 携帯／090-2386-8925 E-mail／office@kekkon-kyoukai.org

公式アプリ【無料】

<https://connect.place/kekkon-kyoukai/>